

全国運動速報

【発行】 国鉄闘争全国運動事務局

2012年5月8日発行

千葉市中央区要町2-8 DC会館内

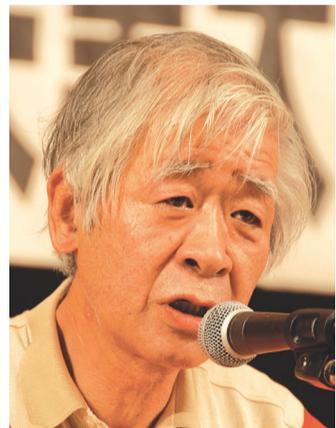
nationwidemovement@yahoo.co.jp

労働組合の団結と運動こそが 新自由主義との闘いの中心に

6・10 文京シビックホールに大結集を

労働者・青年・学生で新たな時代を

清野和彦（元福島県教組委員長）



「3・11原発はいらない!! 福島県民大集会」は、郡山市開成山野球場を1万6000人の参加者が埋めつくしました(写真)。ほぼ、県内8000人、全国から8000人の結集です。組合旗、のぼりが林立して、労



働者、農民、市民、学生などの組織的結集が示された集会でした。

福島県の事故の収束宣言をし原発再稼働に走る野田政権に対決し、「反原発・脱原発」を要求する福島においては、過去最大の集会として成功することができました。

地元で集会開催の中心を担った「福島県平和フォーラム」は4月14日、「3・11県民大集会」と今後の脱原発運動に関する討論集会」を開催したが、その中

で「取り組み通して、組織の再点検や組織強化を図ることができ、また組織外への働きかけを行うことにより、地域へのフォーラム組織の浸透、影響力拡大が進展しました」と指摘しています。

更なるたたかひへの前進と強化が課題となっているのです。

5月5日には、全原発が停止しました。反原発・脱原発のたたかひは、これからの日本や世界のあり方を問う

◎国鉄闘争全国運動6・10全国集会

6月10日(日) 午後1時(12時半開場)

文京シビックホール

(主催) 国鉄闘争全国運動

大闘争です。

野田政権は、東電福島第1原発の「事故収束」を宣言し、今、大飯原発を再稼働させようとしています。絶対に許せません。

また、「税と社会保障の一体改革」と称して消費税引き上げ、社会保障の引き下げ、TPP参加、国会における憲法審査会の進行、沖縄における米軍新基地建設、アジア太平洋重視の日米安保体制強化の対中国対峙政策の展開など新自由主義政策を強行しています。

労働組合が立ち上がらなければならぬのです。

EU諸国に広がるソブリン危機は、世界的な恐慌につながりつつあり、日本では異常な円高となつて現れています。身近では、民営化・外注化、そして失業、非正規労働者の増加として進行し、特に青年の未来が奪われようとしています。

これらの情勢と攻撃に立ち向かうためには、労働組合の団結と運動こそが中心にならなければなりません。職場から地域か

らたたかひ、全国的な連帯を強化し、労働運動を強化、発展させることが課題です。

かつて60年・70年日米安保反対闘争を経て75年の公労協を中心としたスト権ストに上り詰めた、特に8日間に及ぶ国鉄労働者のストライキの教訓を生かすことができる求められています。

これに恐怖した独占資本、自民党政権が必死になつて強行したのが国鉄分割・民営化であり、89年の連合結成一総評解散でした。

そして、現在は東京、大阪での公務員支配攻撃となつて続いています。それは、かろうじて、現在も、全国的な、職場からのたたかひの動きを示しているからです。

まともな組合としてたたかひ続けてきた動労千葉に学び、学習・討論、論議を重ね、連帯してたたかひに立ち上がりましょう。6・10に結集しましょう。青年・学生の皆さん、将来の力を手の中に握っています。希望です。期待しています。